

コード No. 11031

**Anti-
NSE (3-3-C) Mouse IgG MoAb**

容量 : 1 mL

-
- はじめに : 解糖系の酵素であるエノラーゼは α , β , γ の 3 種類のサブユニットの組合せから成る二量体構造から構成されています。このうち $\alpha\gamma$ および $\gamma\gamma$ 型のエノラーゼは主に神経細胞や軸索突起に存在するため、神経特異エノラーゼ(Neuron Specific Enolase, NSE)と呼ばれています。NSE は各臓器に分布する神経内分泌細胞にも存在することが明らかとなり、その腫瘍である肺小細胞がん、神経芽細胞腫、神経内分泌系腫瘍の研究に有用な腫瘍マーカーとして知られています。
- 免疫抗原 : NSE $\gamma\gamma$
- 起源 : マウス×マウス ハイブリドーマ
(X63 - Ag 8.653 × BALB/c マウス脾臓細胞)
- クローン名 : 3-3-C サブクラス : IgG₁
- 精製方法 : Protein A による特異精製
- 包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 250 μ g/mL となります)
- 保存方法及び安定性 : 2~8°C 保存 5 年間安定
溶解後 -20°C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 200 倍希釈にて使用可能(ホルマリン固定、パラフィン包埋切片)
ウエスタン・ブロッティング 200 倍希釈にて使用可能